

2024年6月5日

各位

会社名 AeroEdge株式会社  
代表者名 代表取締役社長 兼 執行役員 CEO 森西 淳  
(コード番号: 7409 東証グロース)

## 航空機エンジン部品量産用の新工場竣工のお知らせ

AeroEdge株式会社（本社：栃木県足利市、代表取締役社長：森西淳、証券コード：7409）は新工場が竣工し、披露式を開催したことをお知らせいたします。

2023年9月4日公表の「新工場建設着工に関するお知らせ」において、現在の主力事業であるチタンアルミブレード生産以外の、新たに受注が見込まれる航空機エンジン部品の新規加工案件の量産化に対応するための新工場建築着工をお知らせしておりましたが、このたび2024年6月5日に新工場が竣工し、披露式を開催いたしました。

竣工披露式には経済産業省 製造産業局 航空機武器宇宙産業課 航空機部品・素材産業室長 西山 正氏、栃木県副知事 天利 和紀氏、足利市長 早川 尚秀氏のほか関係者を来賓にお迎えし、代表取締役社長 森西 淳ほか当社関係者が出席のうえ、新工場完成の感謝と稼働の安全を祈念いたしました。

当社は、商業用航空機である仏 Airbus 社製 A320neo ファミリー機および米 Boeing 社製 737MAX 機に搭載される LEAP エンジン用部品であるチタンアルミブレードの量産・販売を主力事業としておりますが、新工場においては、当該チタンアルミブレードの増産ではなく、別の航空機エンジン部品の量産を行う予定です。

また、航空機産業では 2050 年をターゲットにした CO<sub>2</sub> 削減目標策定と達成が強く求められており、新工場には、太陽光発電によるグリーンエネルギーを導入するなど、CO<sub>2</sub> 排出量削減に向けても積極的に取り組んでまいります。当社は、事業活動による ESG への取り組みはもちろん、事業活動外でも地域社会連携や地域貢献活動に参加し、お客様・地域の皆様・従業員すべてのステークホルダーの満足度向上を図りながら、持続的な成長を目指して参ります。

### ■新工場の概要

名 称	AeroEdge株式会社 本社工場 B 棟
所 在 地	栃木県足利市（本社敷地内）
竣 工 日	2024年6月
生 産 品 目	LEAP エンジン以外の航空機エンジンに搭載される部品
延 床 面 積	約 3,100 m <sup>2</sup>
投 資 総 額	約 19 億円（建物、設備等）
量 産 開 始 時 期	2024 年末頃（予定）



完成した新工場(B棟)



新工場(B棟)航空写真

\*\*\*

AeroEdge (エアロエッジ) は、世界の航空業界でナンバーワンを追求する技術集団です。栃木県足利市に本拠を置く 2016 年創業の小さな企業が、航空機エンジン製造大手のフランス企業 (Safran Aircraft Engines 社) から次世代航空機用エンジン「LEAP」に搭載されるタービンプレードの国内初の長期量産サプライヤーに選定され、現在その増産体制の構築を加速しています。AeroEdge は製造業に軸足を置きながら環境の変化に迅速に対応し、常にリーディングエッジであり続けること、一人ひとりが自主性・創造性を発揮し、他人がやっていない新しいことに果敢に取り組み、新しい価値を創出すること、社会と人々の幸せに寄与することを使命に「ゼロからイチを創る」活動を推進しています。

<https://aeroedge.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先：

AeroEdge 株式会社 IR 担当

Mail: <https://aeroedge.co.jp/ir/inquiry/>